

令和元年度

公立大学法人和歌山県立医科大学看護研修生受入れ要項

1. 研修生受け入れの目的

和歌山県内の各医療機関における看護実践の質向上ならびに、本研修参加者のキャリア開発の支援を目的とする

2. 研修生受け入れの目標

- 1) 和歌山県内の医療機関に勤務する看護師が本研修に参加することで、参加者の看護実践能力が向上する。また、参加者が自施設において看護実践リーダーとしての役割を果たすことができる
- 2) 本学（附属病院含む）に所属する高度実践看護師などが、各専門性を活かした学習コースを提供することで、和歌山県内のあらゆる看護実践の場に応じた適切な教育が提供できる

3. 受け入れを実施する分野

- Aコース：感染管理ベーシック（3日間）
- Bコース：感染管理アドバンス（3日間）
- Cコース：周産期メンタルヘルス（2日間）
- Dコース：ナースのメンタルヘルス（2日間）
- Eコース：手術看護ベーシックコース（1日間）
- Fコース：手術看護アドバンスコース（1日間）
- Gコース：教育担当者コース（1日間）

4. 参加費用

1日につき、2,500円（実習料として）

※聴講のみの場合も参加費が必要です。参加当日にお支払いいただきます。

5. 期間

令和元年10月～令和2年2月末日まで（各コースで指定日あり）

6. 申込方法（送付先についてはP.15に記載しています）

参加希望コースの申込締切日までに、郵送・メール・FAX いずれかの方法で、様式1を看護キャリア開発センター宛てに送付ください。A・B・E・Fコースをお申込みの場合は、様式2の添付が必要です。

7. 申込から研修参加までの流れ

- ① 参加希望について、様式1を下記いずれかの手段で看護キャリア開発センターまで送付ください。
・PDF添付のうえメール ・FAX ・郵送（送付先についてはP.15に記載しています）
- ② 看護キャリア開発センターから受講決定通知書を送付します。（郵送）
受講決定通知時に、集合時間・場所や持参品をご案内します。
A・B・E・Fコースは、ユニフォーム・靴の持参が必要です。
- ③ 事前課題をメールで看護キャリア開発センター（アドレス：kango-c@wakayama-med.ac.jp）へ
- ④ 希望のコースを受講する
受講決定通知時にお伝えしている時間・場所に集合してください。
- ⑤ 受講内容を踏まえ、自部署・自施設で実践する。（**実践中のフォローをご希望の場合は、看護キャリア開発センターを窓口、研修担当者のフォローを受けていただきます**）
- ⑥ 事後課題をメールで看護キャリア開発センターへ（各コースの締め切り日までに）

→各コースの詳細説明は次のページから

A：感染管理ベーシックコース（3日間）

開催日：令和元年12月6日（金）、12月13日（金）、12月18日（水） ※詳細は下記スケジュール通り

目的：自部署で感染管理を推進するための必要な知識を学ぶ

担当者：和歌山県立医科大学附属病院看護部 柳瀬安芸（感染管理認定看護師）
 （講師）和歌山県立医科大学附属病院看護部 小谷智美（感染管理認定看護師）
 和歌山県立医科大学附属病院感染制御部 小島光恵（感染管理認定看護師）
 和歌山県立医科大学附属病院感染制御部 則村大輔（感染管理認定看護師）

対象者：経験年数3年以上の看護師

人数：3名程度（1日目のみ聴講を10名まで受け入れます）

場所：1, 2日目 和歌山県立医科大学高度医療人育成センター5階 小研修室
 3日目 和歌山県立医科大学附属病院 中央棟4階 大会議室

申込締切：令和元年11月15日（金）

事前課題：「自部署における感染対策上の問題」について所定様式に記載のうえ、11月29日（金）までに、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「自部署での実践と評価」について所定様式に記載のうえ、令和2年3月13日（金）までに看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

病院内での見学がありますので、更衣が必要です。ユニフォーム・靴・名札を持参してください。（ロッカーは本学で準備いたします）また、事前課題とともに、様式2で検査結果をご報告ください。

- ◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。
- ◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

<コース スケジュール>

（1日目）12月6日（金）10：00～16：30 ※聴講可

時間	項目	内容
10：00～12：00 （120分）	【講義】 ・感染管理に関する基礎知識（60分） ・標準予防策（60分）	感染予防の基本、関係法規
13：00～16：30 （210分）	【講義】 ・経路別予防策（30分） ・洗浄消毒滅菌（30分） ・針刺し・粘膜曝露予防策（45分） 【演習】 ・手洗いチェック（20分） ・PPE着脱（10分） ・N95マスクフィットチェック（15分） 【グループワーク】 ・日常的なケアを見直す（60分）	空気、飛沫、接触感染 スποルディングの分類、消毒薬の特徴など 針刺し予防、曝露後発症予防措置 蛍光塗料とブラックライトを用いた洗い残しの評価、PPE着脱を実施 N95マスクの漏れ率を測定 日常的に行われているケアについて振り返る。

(2日目) 12月13日(金) 10:00~16:00

時間	項目	内容
10:00~12:00 (120分)	【講義】 ・微生物検査と正しい検体採取方法(60分) ・抗菌薬適正使用(60分)	微生物検査の基本と検体採取方法 抗菌薬の基礎知識
13:00~16:00 (180分)	【講義】 看護ケアにおける感染対策(120分) ・血管内留置カテーテル関連血流感染予防策 ・尿路カテーテル関連尿路感染予防策 ・人工呼吸器関連肺炎予防策 ・手術部位感染予防策 【演習】 ・サーベイランス(60分) 手指衛生	感染経路と具体的な予防策 手指消毒薬使用量調査 直接観察法

(3日目) 12月18日(水) 10:00~16:30

時間	項目	内容
10:00~12:00 (120分)	【講義・グループワーク】 ・感染症発生時の対応(90分) 【見学】 ・感染予防の実際(30分)	ノロウイルス、インフルエンザが検出された場合の対策を検討 1~2部署を見学
13:00~16:30 (210分)	【見学】 ・抗菌薬適正使用支援チーム(AST)カンファレンス(30分) ・インфекションコントロールチーム(ICT)ラウンド(120分) 【演習】 ・自部署で感染管理を推進していくための取り組み(60分)	

B：感染管理アドバンスコース（3日間）

開催日：令和2年1月24日（金）、1月31日（金）、2月5日（水） ※詳細は下記スケジュール通り

目的：自施設で感染管理を組織的に取り組むための必要な知識を学ぶ

担当者：和歌山県立医科大学附属病院看護部 柳瀬安芸（感染管理認定看護師）

（講師）和歌山県立医科大学附属病院看護部 小谷智美（感染管理認定看護師）

和歌山県立医科大学附属病院感染制御部 小島光恵（感染管理認定看護師）

和歌山県立医科大学附属病院感染制御部 則村大輔（感染管理認定看護師）

対象者：経験年数5年以上の看護師

人数：3名程度 ※聴講の受入れはありません

場所：和歌山県立医科大学高度医療人育成センター5階 小研修室

申込締切：令和元年12月27日（金）

事前課題：「自施設における感染対策上の問題」について所定様式に記載のうえ、令和2年1月17日（金）

までに、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「自施設での実践と評価」について所定様式に記載のうえ、令和2年3月13日（金）までに看護キ

ャリア開発センターまでメールでご提出ください。

病院内での見学がありますので、更衣が必要です。ユニフォーム・靴・名札を持参してください。（ロッカーは本学で準備いたします）また、事前課題とともに、所定の様式で感染症検査結果をご報告ください。（別紙様式）

◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。

◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

<コース スケジュール>

（1日目）1月24日（金）10：00～16：30

時間	項目	内容
10：00～12：00 （120分）	【講義】 ・感染管理に関する基礎知識（30分） ・標準予防策と経路別予防策（30分） ・感染対策チーム（ICT）活動（60分）	感染予防の基本、関係法規 ICTの役割と活動内容
13：00～16：30 （210分）	【講義】 ・洗浄消毒滅菌とファシリティーマネジメント（45分） ・針刺し・粘膜曝露予防策（45分） ・微生物の基礎知識（60分） ・抗菌薬適正使用（60分） 【グループワーク】 ・日常的なケアを見直す（30分）	スポルディングの分類、消毒薬の特徴など 環境表面・給湯・空調管理、リネンの管理 針刺し予防、曝露後発症予防措置 微生物とは、微生物検査の基本 抗菌薬の種類、投与方法 日常的に行われているケアについて振り返る。

(2日目) 1月31日(金) 10:00~16:30

時間	項目	内容
10:00~12:00 (120分)	【講義】 看護ケアにおける感染対策(120分) <ul style="list-style-type: none"> ・血管内留置カテーテル関連血流感染予防策 ・尿路カテーテル関連尿路感染予防策 ・人工呼吸器関連肺炎予防策 ・手術部位感染予防策 	微生物とは、微生物検査の基本 抗菌薬の種類、投与方法
13:00~16:30 (210分)	【講義と演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・サーベイランス(60分) カテーテル関連尿路感染(CAUTI)、中心ラインカテーテル関連血流感染(GLABSI)、手指消毒剤使用量、薬剤耐性菌 	感染経路と具体的な予防策 症例定義、感染率の算出方法、フィードバック

(3日目) 2月5日(水) 10:00~16:30

時間	項目	内容
10:00~12:00 (120分)	【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時の対応(90分) 【見学】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の実際(30分) 	アウトブレイク時の対応も含む 1~2部署を見学
13:00~16:30 (210分)	【見学】 <ul style="list-style-type: none"> ・抗菌薬適正使用支援チーム(AST)カンファレンス(30分) ・インфекションコントロールチーム(ICT)ラウンド(120分) 【演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・自施設で感染管理を推進していくための取り組み(60分) 	

C：周産期メンタルヘルスコース（2日間）

開催日：令和2年1月16日（木）、1月17日（金） ※詳細は下記スケジュール通り

目的：精神の健康問題をもつ妊産婦の精神症状とセルフケアの関連を理解し、早期発見および早期介入のためのアセスメントと介入方法を理解する

担当者：和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 武用百子（精神看護専門看護師）
 （講師）和歌山県立医科大学附属病院 看護部 向井君子（新生児集中ケア認定看護師）
 和歌山県立医科大学附属病院 看護部 狗巻見和（小児看護専門看護師）
 和歌山県立医科大学附属病院神経精神科 山本真弘（医師）
 和歌山県健康局健康推進課 母子保健班 尾崎裕美 班長

対象者：周産期領域に関わる助産師、看護師、保健師

人数：16名

場所：和歌山県立医科大学生涯研修センター3階 研修室

申込締切：令和元年12月27日（金）

事前課題：「自施設における周産期領域のメンタルヘルスの課題」について所定様式に記載のうえ、令和2年1月10日（金）までに、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「実践報告と評価」について所定様式に記載のうえ、令和2年3月13日（金）までに看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。

◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

<コース スケジュール>

(1日目) 1月16日(木) 9:30~16:10

時間	内容
9:30~10:30	周産期メンタルヘルスケアの動向（向井） 施策とガイドライン（向井）
10:40~12:10	正常な妊産婦の心理とケア（向井）
13:00~14:30	周産期における虐待予防とその取り組み（狗巻）
14:40~16:10	周産期メンタルヘルスにおける地域連携（尾崎）

(2日目) 1月17日(金) 9:30~17:00

時間	内容
9:30~11:30	周産期に注意すべき精神障害とその病態（山本）
11:40~12:40	精神症状のアセスメント（武用）
13:30~14:30	セルフケア支援（武用）
14:40~16:40	事例をとおして学ぶメンタルヘルスの実際 （演習；事例検討及びロールプレイ）
16:50~17:00	まとめ（武用）

D：ナースのメンタルヘルスコース（2日間）

開催日：令和2年2月26日（水）、2月27日（木） ※詳細は下記スケジュール通り

目的：メンタルヘルス支援の基礎知識を学び、自施設における職場のメンタルヘルス支援の方法が分かる

担当者：和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 武用百子（精神看護専門看護師）

（講師）和歌山県立医科大学附属病院神経精神科 山本真弘（医師）

対象者：教育担当者、管理者、看護基礎教育の教員、その他

人数：20名

場所：2月26日：和歌山県立医科大学生涯研修センター3階 研修室

2月27日：和歌山県立医科大学高度医療人育成センター5階大研修室

申込締切：令和2年2月7日（金）

ご注意ください！
1日目と2日目で開催場所が違います

事前課題：「**自施設におけるナースのメンタルヘルスの課題**」について所定様式に記載のうえ、

令和2年2月19日（水）までに、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「**実践報告と評価**」について所定様式に記載のうえ、令和2年3月13日（金）までに看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。

◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

<コース スケジュール>

（1日目）2月26日（水）9：30～15：00

時間	内容
9：30～10：00	職場のメンタルヘルスケアの動向（武用）
10：00～11：00	ストレスの基礎知識（武用）
11：10～12：10	ストレスマネジメント（武用）
13：00～15：00	職場のメンタルヘルスにおける精神障害とその病態（山本）

（2日目）2月27日（木）9：30～17：00

時間	内容
9：30～12：30	事例をとおして学ぶメンタルヘルスの実際 （演習；事例検討及びロールプレイ）
13：30～15：30	事例をとおして学ぶメンタルヘルスの実際 （演習；事例検討及びロールプレイ）
15：40～16：40	自組織における困難ケースにおけるコンサルテーション（武用）
16：50～17：00	まとめ（武用）

E：手術看護ベーシックコース（1日間）

開催日：令和元年10月1日（火）～令和2年2月末日までの期間で日程は要相談 ※1日のコースです

目的：手術看護認定看護師の実践を交えた手術看護の基本を学ぶ

担当者：和歌山県立医科大学附属病院看護部 手術看護認定看護師
（講師）

対象者：経験年数3年未満の手術室看護師 ※看護の視点を養いたい方にうってつけの研修内容となっています

人数：1回につき、2～3名程度

場所：和歌山県立医科大学附属病院中央手術部門

申込締切：研修を希望する日程の約2か月前（2か月前を過ぎた場合は電話連絡のうえ、日程をご相談ください）

事前課題：研修生の現在の課題を明確にするために、課題シートに「**自施設・自部署における自己の課題や研修したい内容**」について所定様式に記載のうえ、**研修実施予定日1週間前までに**、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「**実践報告と評価**」について所定様式に記載のうえ、**研修終了1か月後まで**までに看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

病院内での見学がありますので、更衣が必要です。ユニフォーム・靴・名札を持参してください。（ロッカーは本学で準備いたします）また、事前課題とともに、所定の様式で感染症検査結果をご報告ください。（別紙様式）

◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。

◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

【研修内容】

- ・手術室における安全対策（安全チェックリスト、体内遺残予防、KYT）
- ・術前の看護計画立案
- ・術中看護（認定看護師の看護計画、術中の観察点、合併症予防など実践を交えた指導）
- ・術後の申し送り内容
- ・術前外来の見学

F：手術看護アドバンスコース（1日間）

開催日：令和元年10月1日（火）～令和2年2月末日までの期間で日程は要相談 ※1日のコースです

目的：手術看護認定看護師の看護介入の実際やリーダーシップ、他職種との関わりの場面、ガイドライン、エビデンスに基づいた指導を学ぶことができる

担当者：和歌山県立医科大学附属病院看護部 手術看護認定看護師
（講師）

対象者：対象者は経験年数3年以上 ※指導やリーダーなど教育面の役割を担う方にぴったりの研修内容です

人数：1回につき、2～3名程度

場所：和歌山県立医科大学附属病院中央手術部門

申込締切：研修を希望する日程の約2か月前（2か月前を過ぎた場合は電話連絡のうえ、日程をご相談ください）

事前課題： 研修生の現在の課題を明確にするために、課題シートに「**自施設・自部署における自己の課題や研修したい内容**」について所定様式に記載のうえ、**研修実施予定日1週間前までに**、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「**研修の学び、自施設での実践と評価**」について所定様式に記載のうえ、**研修終了1か月後までに**看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

病院内での見学がありますので、更衣が必要です。ユニフォーム・靴・名札を持参してください。（ロッカーは本学で準備いたします）また、事前課題とともに、所定の様式で感染症検査結果をご報告ください。（別紙様式）

◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。

◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

【研修内容】

- ・手術室における安全対策（安全チェックリスト、体位変換時チェックリスト）
- ・急変時の対応（気道確保困難、アナフィラキシーショック、出血性ショック）
- ・災害発生時の対応（アクションカード）
- ・術中看護（認定看護師の看護計画、術中の観察点、合併症予防など実践を交えた指導）
- ・継続看護（病棟やリソースナースとの連携）
- ・術前外来の見学

G：教育担当者コース（1日間）

看護実践における倫理

～気づけるように教えてる？超々身近な実践現場の倫理的問題点～

開催日：令和元年12月26日（木） ※半日のコースです

目的：指導者が後輩看護師の倫理的感受性を理解し、実践のなかで倫理的配慮ができるよう支援する方法を学ぶ。

担当者：和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター

（講師）

対象者：プリセプター、チューターなどの役割を担う、部署の教育担当者

人数：16名

場所：和歌山県立医科大学高度医療人育成センター5階 中研修室1・2

申込締切：令和元年11月29日（金）

事前課題：「後輩看護師の倫理的感受性について」を所定の様式に記載のうえ、令和元年12月13日（金）までに、看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

事後課題：「研修後の指導実践と評価」について所定様式に記載のうえ、令和2年3月13日（金）までに看護キャリア開発センターまでメールでご提出ください。

◇ 受講後年度末までに、面談もしくはメールでフォローアップを実施します。

◇ 遠隔医療支援システムを用いたフォローアップ体制についても検討しますので、遠方の方もぜひご参加ください。

<コース スケジュール>

時間	内容
13:30～	受付開始
13:55～14:00	オリエンテーション
14:00～15:00	看護実践における倫理について（講義）
15:00～16:00	倫理的配慮が必要な場面における後輩の対応への指導（演習；シミュレーション）
16:30～17:00	まとめ